

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 コサカ・ライフサポート	代表者	小坂 忍	法人・ 事業所 の特徴	'感謝をもって誠をつくす'を理念とし、ご利用者個々の暮らしのニーズに柔軟に対応する事を心がけています。					
事業所名	小規模多機能の家 是川淨信館	管理者	小坂 愛							

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	4人	0人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・介護記録に関して、紙ベースと電子システムのメリットを選びすぐり、プランが意識できる記録方法を構築する。	・電子システムにも慣れてきたよう思う。プラン以外にも特記事項を紙ベースで記録することにより、状況把握がしやすくなつた。しかし、システムへの打ち込みと手書きをすることで二重の記録になつてゐる事があり、記録の時間が取られてしまつてゐる。よりご利用者との時間を作っていく為に、現在は一部の記録を紙ベースのみにする等で試みている。	・意見等、特になし。	・業務の流れや記録方法等、会議で話し合いながら内容を検討していき、今後の情報共有の在り方を模索していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・継続して、感染予防に努めながら、利用者個々が楽しく且つ安心安全に過ごせる空間を作る。	・感染予防に留意しながら、業務に従事してきた。感染症への制限が緩和されているものの、感染リスクを考慮して、外部を迎えてのイベントは、ある程度制限をしてきた。ご利用者が館内でも楽しめるようにと壁面を利用して、季節の飾りやイベント写真を装飾し喜んでいただけたよう思う。	・意見等、特になし。	・建物内だけではなく、外回りや庭園の整備を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	・継続して、感染状況をみながら、健康教室やあおぞら市相談所等の地域イベントへ参加していく。	・継続して、地域で行われている健康教室やあおぞら市相談所等へ参加することができた。	・意見等、特になし。	・継続して、健康教室やあおぞら市相談所へ参加し、町内で行われている活動への繋がりも見出していく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況をみながら、利用者の社会資源のインフォーマルな幅を広げていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の社会資源やその活用は摸索中である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見等、特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当館への認識をより深めてもらう為に何ができるのか摸索していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して、意見用紙を活用しながら、委員の方々から地域の情報や当館への提案を汲み取るよう努めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染を懸念してか、委員の方々の会議への参加率が低くかった。委員の方へ、よりご意見をいただく為にどのような問い合わせや取組みをしたらよいのか考えていく必要があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見等、特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当館が地域資源の一部になれるよう、会議の内容やご利用者の参加等、運営推進会議の在り方を見直していく。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して、当館での消防訓練を実施し、より多くのスタッフが参加できるように配慮する。 ・クラスター発生時の対応と対策を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り、消防訓練を行うことができた。感染リスクを考えるとまだ地域の方々の参加を依頼していないが、状況をみて参加していただけるよう活動していきたい。 ・本部の対策委員会とも連携しながら、緩和後のクラスター発生を抑えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見等、特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練への参加。 ・当館での消防訓練へ地域の方の協力依頼を図る。 ・BCPの策定と研修、訓練の参加。

1. 初期支援(はじめのかかわり)

氏名

小坂愛、照井、長谷部、亀田、阿部
林崎、小野寺、河原木、大場、溝江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

- 自身に与えられている担当業務に関して責任を持って取り組む。
- チームワークを高めるために会議の場で参加者全員が意見交換できる環境を作っていく。

前回の改善計画に対する取組み
結果

- 担当業務に対して個人の価値観の違いなのか、意欲的に取り組むスタッフもいれば、声掛けにて動くスタッフもいた。
- 個人のスキルの差から、発言できるスタッフがある程度限られてしまっている。発言しづらいというよりも様々な事への気付きの差があったように感じられた。

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人 (10%)	9人 (90%)		

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	1人 (10%)	9人 (90%)		
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		10人 (100%)		
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができますか？		10人 (100%)		
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		8人 (80%)	2人 (20%)	

できている点

- フェイスシートを参考して、ケアに取り組んでいる。
- ミーティングや先輩スタッフからアドバイスをもらいながら、ご利用者の特性やニーズの把握に努めている。
- 情報が少ない中でも分からぬところは手探りで訪問し、気付いた点等を報告し、情報共有している。
- 慣れていない新規のご利用者には、ご利用者の立場になり、声のトーンや話し方、接し方等に気を付けて支援している。
- 初回の訪問時、通い時には細目に声掛けしながら情報収集し、楽しんでいただけるよう支援している。
- ご家族とも連携を取りつつ、ご利用者本人が安心して暮らせるよう努めている。
- 家族送迎の際は、ご家族と話をしながら気持ちを受け止めるよう努め、関係性作りをしている。
- フェイスシート作成時は、より多くの情報を載せられるよう、面談時や体験時等にはご家族やご利用者本人、ケアマネから些細な事でも話していただけるよう努めている。
- 必要とされているサービスの把握に努め、自立支援にも繋げられるよう考え、話し合いながら支援している。

できていない点

※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。

- ご利用者に対して、どのような対応をしていくのが正しいのか分からなくなる。
- ご家族の不安等を受け止めきれていない。
- ご利用者の情報等に見落としがある。
- ご家族の不安やニーズは、日々変化していくと思うがそれを把握できていないと思う時がある。
- ご利用者とご家族のニーズが一致していない。
- 情報収集量が少ない。
- 状況によっては、本人の状態や必要なサービスの把握が不十分なままサービス開始となっている時がある。

次回までの具体的な改善策

- 担当業務に対し当事者意識を持って行動していくとともに、お互いに意識が持てるよう声掛けしあっていく。

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

氏名

小坂愛、照井、長谷部、亀田、阿部
林崎、小野寺、河原木、大場、溝江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

- BlueOcean システムと紙ベースでの記録のメリットを選びすり、プランの目標を常に意識できるような新しい記録方法を構築する。

前回の改善計画に対する取組み
結果

- 電子システムにもだいぶ慣れてはきたが、電子機器へ苦手意識を持っているスタッフもいたり、通信速度等での不具合もあった。紙ベースの方が記録のし易さや自由さもあり、プランに対する意識も高かったように思う。目標等を意識しやすくするため、特記のみを紙ベースでも記録するようにしたが、システムへの記録と紙ベースへの記録と手間がかかっているのが現状である。

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組めましたか？		5人 (50%)	5人 (50%)	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		8人 (80%)	2人 (%)	
②	本人の当面の目標「～したい」がわかつていますか？		8人 (80%)	2人 (%)	
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		6人 (60%)	4人 (%)	
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	1人 (10%)	3人 (30%)	5人 (50%)	1人 (10%)

できている点

- ・ライフサポートプランを念頭に置きながら、ケアに取り組んでいる。
- ・長期、短期の目標の把握に努め、理解した上で支援している。
- ・BlueOcean システムへの入力は、抜けがあるかもしれないが、たいぶ慣れてきたと思う。
- ・紙ベースの生活記録用紙に個々の目標を表記し、把握できるようにしている。

できていない点

※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。

- ①BlueOcean システムの仕組みについて、理解できていないところがある。
- ②ご利用者の目標に対して、自身が実践していく余裕がない。
- ③目標に対する日々の関りができていない。
- ④実践内容を発言したり、振り返る余裕がない。
- ⑤プランの「～したい」の把握が甘いように思う。具体的に取り組めていない。
- ⑥BlueOcean システムへの打ち込みがメインになってしまい、プランに目がいっていない。
- ⑦BlueOcean システムは、ペーパーレス化や個人情報保護という点ではクリアしていると思うが、電子記録の導入で仕事の効率が悪くなっていると思う。
- ⑧目標の把握が難しい時がある。

次回までの具体的な改善策

- ・自身の担当ご利用者のプラン（目標）を再確認し、意識した記録を心掛ける。

3. 日常生活の支援

氏名

小坂愛、照井、長谷部、亀田、阿部
林崎、小野寺、河原本、大場、溝江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

- ・客観的に観察し、主観的な支援や記録にならないように気をつける。

前回の改善計画に対する取組み
結果

- ・客観的に観察するよう意識はしていると思うが、情報共有や意見交換の中で主観的になっていることに気付く事が多かった。

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組めましたか？		8人 (80%)	2人 (20%)	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		7人 (70%)	2人 (20%)	1人 (10%)
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができますか？	3人 (30%)	6人 (60%)	1人 (10%)	
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		7人 (70%)	3人 (30%)	
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	1人 (10%)	9人 (90%)		
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1人 (10%)	9人 (90%)		

できている点

- ・いつもと違うと気付いたら、自己判断せずに他スタッフに声掛けして多くの目で見て判断してもらい共有し合うように心掛けている。
- ・検討事案があれば、管理者等へ相談したり、ミーティングで発信するようにしている。
- ・基礎的な介護は出来ていると思う。
- ・ご利用者と言葉のキャッチボールをしながら、コミュニケーションを図ることで寄り添えていると思う時がある。
- ・客観的に観察するよう意識している。
- ・ご利用者の気持ちや身体状況について、日々確認するよう努めている。

できていない点 ※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。

- ①コミュニケーションの方法や質問等の声掛けが上手にできず、ご利用者へ伝わっていないかもしれません。
 ②一人ひとりの支援について、個別化できていない。
 ③自身の担当ご利用者以外、特に新規のご利用者の情報が不足している。
 ④以前の暮らしをしっかりと把握できていない。
 ⑤スタッフ間の情報共有が不足していると思う。
 ⑥本人の声を言語化できていない。また、しているがそれが正解なのか不安に思う。
 ⑦基礎的な介護はできているが常にご利用者の状況に合わせられているとはいえない。

次回までの具体的な改善策

- ・自身の担当ご利用者を重点的に観察し、会議の場でご利用者の状態や変化を発言できるようにする。

4. 地域での暮らしの支援

氏名

小坂愛、照井、長谷部、亀田、阿部
林崎、小野寺、河原木、大場、溝江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

- ・地域資源とは何か、改めて勉強会等で学ぶ機会を作る。
- ・継続して、ご利用者の生活状況の把握に努め、暮らしに必要な地域資源を探していく。

前回の改善計画に対する取組み
結果

- ・勉強会等で地域資源について学ぶ機会は作っていたが、全てのご利用者に対して個々の結び付けができていなかったように思う。

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人 (10%)	5人 (50%)	4人 (40%)	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		10人 (100%)	人 (%)	
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		7人 (40%)	3人 (30%)	
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		6人 (60%)	4人 (40%)	
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		4人 (40%)	6人 (60%)	

できている点

- ・本人の生活スタイル等に関しては、フェイスシート等で確認している。
- ・出来る限り、ご利用者とコミュニケーションを取り、どのような暮らしをしているのか等、情報収集している。
- ・通いや訪問時に当館を利用していない時はどのように過ごしているか等、聞くようしている。
- ・スポット的ではあるが、話しの中で得た情報でその方の暮らしぶりを理解している。

できていない点 ※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。

- ①地域資源に関して、どのような行動をすればよいのか分からない。
- ②地域資源や民生委員について、全体的にきちんと把握していないし、把握しなければという意識がない。
- ③民生委員の方がご利用者とどのような関係性にあるのか把握できていない。
- ④当館以外の時間をどのように過ごしているのか分からない。
- ⑤地域資源や地域での活動に関して、スタッフへ上手く伝えきれていない。

次回までの具体的な改善策

- ・地域資源や民生委員について勉強会を企画し、ご利用者個々に結び付けて考えられるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

令和5年 8月 31日

5. 多機能性ある柔軟な支援

氏名

小坂愛、照井、長谷部、亀田、阿部
林崎、小野寺、河原木、大場、溝江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	・必要な支援を把握し、支援が過多になっていないか、支援に依存していないかを改めて見直してみる
前回の改善計画に対する取組み結果	・必要な支援を柔軟に考え、支援に努めていた。支援が過多になっているというよりも、より細やかな支援が必要なご利用者が増えたように思う。それに伴い、支援する側の業務が増え、日々の業務をどのように遂行していくが難しくなっている。

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組めましたか？	2人(20%)	8人(80%)		

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1人(10%)	5人(50%)	4人(40%)	
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2人(20%)	8人(80%)		
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	1人(10%)	9人(90%)		
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか？	2人(20%)	8人(80%)		

できている点

- ご利用者の状況に合わせて「通い」「訪問」「泊まり」を柔軟に組み合わせ、小規模の特性を活かせていると思う。
- 出来る限り、ご利用者やご家族のニーズ合わせた支援を心掛けている。
- ご利用者の変化は記録に残し、スタッフ同士で声を掛け合い、情報共有を図っている。
- 移動販売車や近所の床屋等の地域資源等、必要な資源を活かして支援している。
- 気付いた事は直ぐに管理者等へ相談し、急ぎの際は迅速に対応している。
- 改善点等があれば、ミーティングで提案して検討するようにしている。

できていない点

※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。

- ①地域資源に関して、どのような行動をすればよいのか分からない。(項目4-①にも同内容あり)
- ②ご利用者本人の状態やニーズに合わせた支援ができているのか分からない。柔軟な対応は心掛けているがサービス上どうしても提供できない時がある。
- ③地域資源を活用していないのではないか。
- ④支援に関して即時性を求められたり、制度上出来ない事を要求されてもできない。
- ⑤ご家族の希望でサービス提供しているが、部分的にそれが適切でないと思う時がある。

次回までの具体的な改善策

- 必要な支援を見極めながら、支援内容や支援回数を見直していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

令和5年8月31日

6. 連携・協働

氏名

小坂愛、照井、長谷部、亀田、阿部
林崎、小野寺、河原木、大場、溝江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

- ・継続して感染予防対策をしながら、地域の活動や会議等へ参加する。
- ・状況を見て、地域の方と交流できるイベントを企画する。

前回の改善計画に対する取組み
結果

- ・感染症に対しての制限が緩やかになったものの、周囲では感染者が確認されており、感染予防対策をしながら出来る限り地域の活動に参加するように努めた。地域との交流に関しては、ご利用者への感染リスクを考え、積極的な交流は控えていた。

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組めましたか？	1人 (10%)	7人 (70%)	1人 (20%)	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1人 (10%)	6人 (60%)	1人 (10%)	2人 (20%)
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1人 (10%)	6人 (60%)	1人 (10%)	2人 (20%)
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1人 (10%)	6人 (60%)	1人 (10%)	2人 (20%)
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1人 (10%)	5人 (50%)	1人 (10%)	3人 (30%)

できている点

- ・近隣の方と会った際は、明るく挨拶するように心掛けている。
- ・外掃除等の環境整備の際は、挨拶しあったり、会釈をし合うことが多くなったと思う。
- ・開催されたイベントや会議、町内会等の集まりには参加するように努めている。

できていない点 ※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。

- ①その他のサービス機関と会議等のやり取りがあるということを知らない。
- ②今までには、コロナ禍で交流が見送られてきた。
- ③地域の各種機関、団体でのイベントを知らない。
- ④以前のように地域の方々直接触れ合う機会がかった。
- ⑤以前のように地域の方々と交流できるイベントを企画できていなかった。
- ⑥地域住民が事業所を訪れることがない。

次回までの具体的な改善策

- ・継続して感染予防対策をしながら地域での活動に参加したり、地域と交流できるイベントを企画していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

令和5年8月31日

7. 運営

氏名

小坂愛、照井、長谷部、亀田、阿部
林崎、小野寺、河原本、大場、溝江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

- ・圏域会議やあおぞら市相談所を活用し、地域の状況を把握する。
- ・職員会議の場で参加者全員が発言できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み
結果

- ・出来る限り地域で行われている会議やあおぞら市相談所へ参加し、地域の方と交流し情報を得るように努めた。
- ・職員会議に全員参加することは難しかったが、参加したスタッフには発言してもらえるよう声掛けを促していた。経験の差なのか、自身の考えを発言する難しさと発言を促す声掛けの難しさを感じた。

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組めましたか？		8人 (80%)	2人 (20%)	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？		9人 (90%)	1人 (10%)	
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2人 (20%)	8人 (80%)		1人 (10%)
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		9人 (90%)		1人 (10%)
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		9人 (90%)		1人 (10%)

できている点

- ・ご利用者からご意見をいただいた際は、直ぐに管理者へ報告し、真摯に受け止めるようにしている。
- ・会議では、積極的に意見するよう努めている。特に自身の担当ご利用者に関しては、意見を出せるようにしている。
- ・圏域会議やあおぞら市相談所に参加し、地域の状況把握に努めている。

できていない点 ※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。

- ①課題や問題点を見つけ出せずにいる。
- ②地域と協働した取り組みをしているのか分からない。
- ③小規模多機能型居宅介護の特性が理解されていないと思う。
- ④全員が全員、意見が言えないと思う。特に職員会議に参加できなかったスタッフの意見の把握が充分ではないと思う。

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）

- ①課題や問題点を見つけ出せずにいる。
- ②地域と協働した取り組みをしているのか分からない。
- ③小規模多機能型居宅介護の特性が理解されていないと思う。
- ④全員が全員、意見が言えないと思う。特に職員会議に参加できなかったスタッフの意見の把握が充分ではないと思う。

次回までの具体的な改善策

- ・継続して圏域会議やあおぞら市相談所に参加し、改めて当館（小規模多機能居宅介護）について発信していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

令和 5 年 8 月 31 日

8. 質を向上するための取組み

氏名

小坂愛、照井、長谷部、亀田、阿部
林崎、小野寺、河原本、大場、溝江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

- ・社内木鳩会を通し、自身の強みを見つけ出す。
- ・社内勉強会で支援に直結するような実務的な内容を取り入れる。

前回の改善計画に対する取組み

結果

- ・社内木鳩会では、人間力の向上を図っていたが内容の難しさもあり「強み」というよりも「自己反省」になっていた。
- ・社内勉強会では、当館ご利用者に照らし合わせた具体的な事例検討を挙げていたことで、より分かりやすく学ぶことができた。

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組めましたか？	1人 (10%)	9人 (90%)		

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1人 (10%)	6人 (60%)		2人 (20%)
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1人 (10%)	4人 (40%)	2人 (20%)	3人 (30%)
③	地域連絡会に参加していますか		6人 (60%)	1人 (10%)	3人 (30%)
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	1人 (10%)	8人 (80%)	1人 (10%)	

できている点

- ・毎月の勉強会で様々な分野の情報を得ることができ、事例検討を入れているので学ぶことが多い。参加できなかった時は、後日資料を見て学んでいる。
- ・日々の業務で常にリスクを意識し、対策するよう努めている。
- ・自己向上セミナーに参加したり、資格取得に取り組むことができた。
- ・リスクマネジメントに関しては、常に意識している。
- ・外部の研修に参加することができた。
- ・状況判断しながら、問題提起して検討している。
- ・出来る限りではあるが地域との連携が図れる場所への参加を心掛ける。

できていない点

※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。

- ①この間までコロナ禍で制限もあり、研修に参加できなかった。
- ②地域の会議があることを知らない。参加していないし、自分が参加するものだと思っていない。
- ③社内木鳩会を通して、人間性の向上が図れていない。
- ④自己研鑽に励んでいない。
- ⑤状況によって、必要と思える時に“連携が図れる場所”に参加することができなかった。

次回までの具体的な改善策

- ・可能な限り外部研修に参加し、持ち帰った知識や情報を社内勉強会に反映させる等して共有していく。

9. 人権・プライバシー

氏名 小坂愛、照井、長谷部、亀田、阿部林崎、小野寺、河原木、大場、溝江

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	
・継続して、身体拘束、虐待のないケアに取り組んでいく。 ・情報共有をする時は、周囲の状況を必ず確認し声のトーンを落として話す。	
前回の改善計画に対する取組み 結果	
・身体後続、虐待のないケアに取り組むことができた。 ・プライバシーの配慮に関しては、情報伝達時に注意喚起していたが急を要する伝達時には少々声のトーンが大きくなってしまうことはあった。	

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組めましたか？	3人 (30%)	7人 (70%)		

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	身体拘束をしていない	9人 (90%)	1人 (10%)		
②	虐待は行われていない	9人 (90%)	1人 (10%)		
③	プライバシーが守られている	6人 (60%)	4人 (40%)		
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1人 (10%)	5人 (50%)	4人 (40%)	
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6人 (60%)	4人 (40%)		

できている点	
・身体拘束や虐待はしていないし、そなならないケアに努めている。 ・個人情報や人権、プライバシー保護が守られるように意識し、配慮している。 ・カルテの置き場所や記録をする場所等、プライバシーが守られるよう配慮している。	

できていない点	※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。
①成年後見制度を具体的に理解できていない。 ②廊下等でスタッフ同士がこっそりと話している内容が、ご利用者に聞かれてしまっていたことがある。 ③成年後見制度を活用していない。 ④スタッフ間の情報共有中に知らず知らずに声が大きくなってしまうことがある。 ⑤プライバシーが守り切れていると言い切ってよいものかと思ってしまう。	

次回までの具体的な改善策	
・継続して身体拘束、虐待のないケアに取り組んでいく。 ・情報共有をする時は周囲の状況を常に意識しながら、責任を持って行動、発言する。	